

歌で世界をひとつに! あの感動のハーモニーが再び!



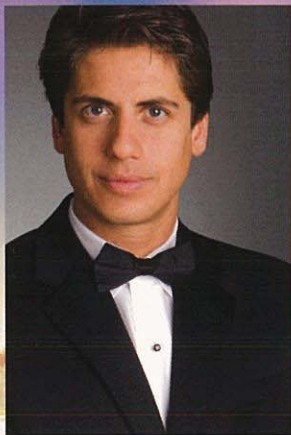
Young People of New York City ヤングピープルズ・コーラス Chorus

フランシスコ・ヌニェス [芸術監督 / 指揮] ニューヨーク市ヤングピープルズ・コーラス (総勢41名)

<予定曲目>キリエ 二短調 K.341 (W.A.モーツァルト)、「ウエスト・サイド・ストーリー」メドレー (L.バーンスタイン)

手紙〜拝啓 十五の君へ〜 (アンジェラ・アキ)、夏の思い出 (中田喜直)、他

ニューヨークの天才指揮者率いる世界的な合唱団 YPC!
若き生命の輝きが平和の光をおくる



Francisco J. Núñez

公演日程 (2018年)

7月13日(金) 7:00p.m. 横浜みなとみらいホール 大ホール

7月17日(火) 7:00p.m. 所沢ミュージック・アークホール

入場料金: S席¥5,800 A席¥5,300 B席¥4,800(税込)

8月2日(木) 7:00p.m. すみだトリフォニーホール 大ホール

8月6日(月) 7:00p.m. 東京芸術劇場 コンサートホール

8月8日(水) 7:00p.m. 東京オペラシティ コンサートホール

入場料金: S席¥5,800 A席¥5,300(税込)

公演のお問い合わせ MIN-ON インフォメーションセンター ☎03(3226)9999

【主催】MIN-ON 【後援】米国大使館、全日本合唱連盟 【協力】日本航空

チケットのお求めは

チケットぴあ ☎0570(02)9999 [Pコード:112-110]

ローソンチケット ☎0570(084)003

[Lコード:32926(7月)、33028(8月)]

横浜みなとみらいホールチケットセンター

☎045(682)2000 [7/13公演]

ミュージックチケットカウンター

☎04(2998)7777 (窓口販売のみ) [7/17公演]

東京芸術劇場ボックスオフィス ☎0570(010)296

(休館日を除く) (10:00~19:00)

<http://www.geigeki.jp/t/> [8/6公演]

東京オペラシティチケットセンター ☎03(5353)9999

(10:00~18:00 月曜定休) [8/8公演]

※未就学児童のご入場は固くお断りいたします。



民音WEBクラブ

www.min-on.or.jp/webclub/

会員募集中! 特典あり

携帯サイトはこちらから ↓



4/19(木)
発売開始!

プロモ動画
配信中!



分断されたニューヨークの社会を 音楽のチカラで再生する

ヤングピープルズ・コーラス(YPC)の歴史は、1988年、「チルドレン・エイド・ソサエティ(児童援護協会)」まで遡る。ニューヨーク最古

の歴史をもつこの人権団体に、大学を卒業したばかりのフランシスコ・J・ヌニェスは、初めて合唱活動を取り入れた。移民の子として自らも体験してきた社会のひずみ、すなわち人種、宗教、経済格差により分断されたニューヨークの社会を「音楽の力で立て直す」ために、彼は放課後の子どもたちの居場所を作ったのだった。

3年前、マンハッタン真ん中に念願の本拠地ができた。2つの大きなスタジオを持つその稽古場を先日訪ねた。毎日放課後、「Home」と呼び、とても大切にしているこの場所に、彼らは集まる。どこにでもいる、ごく普通の少年少女。ときに楽譜と真剣ににらめっこし、ときに笑い、踊る。彼らが練習で聴かせてくれた『明日に架ける橋』には泣けた。「私たちの歌なんだよ」という、お腹の底からの確信に満ちた歌だった。そして夕方6時半、ごく普通にハグしあって彼らは帰っていく。

東日本大震災で被災した南相馬の中学校の先生が、教え子たちの言葉を編んでつくった合唱曲『群青』を、彼らは試みに歌ってみた。「美しいね」ある青年がいうと、フランシスコはこう続けた。「そしてパワフルだ」

力強いメッセージがある音楽、それによってみんなが考え、語り合うきっかけになるような音楽のことを彼は「パワフル」と呼ぶ。アメリカの、そして世界の縮図であるニューヨークの社会で30年にわたって生き続けたこの合唱団だからこそ、音楽のチカラへのこだわりだ。

みんなで「環-circle」をつくりたい。フランシスコはそういう。聴衆の拍手がYPCのみんなにパワーを与え、私たち聴き手もまた、彼らに元気づけられる。舞台と客席が描く環。YPCとニューヨークのまちが描く環。そして音楽と社会が描く環、それが彼らの描く構図なのだろう。

透明でみずみずしいピアノシモから爆発的な輝きまでの、幅広い表現力。ポップでエンターテインメントたっぷりの楽しいステージ、シャープに切り込む現代の歌。そして心に沁みる歌。全身から音楽を発する彼らの姿をぜひみてほしい。社会に「不寛容」が溢れる今こそ、彼らと幸せな音楽体験を共有し、手をつなぎたい。

山口 敦 (カメラマン/ライター)

「不寛容」が溢れる今こそ、
彼らの音楽を聴きたい

ニューヨーク市ヤングピープルズ・コーラス Young People's Chorus of New York City

ニューヨーク市ヤングピープルズ・コーラス(YPC)は、1988年、芸術監督のフランシスコ・J・ヌニェスによって創立された青少年合唱団。その優れた芸術性と素晴らしいショーマンシップに加え、子供たち一人ひとりの可能性を開花させる画期的なプログラムが世界的に高い評価を受けている。2011年には、ホワイトハウスでミシェル・オバマ大統領夫人から、青少年プログラムの中でも最高の栄誉といわれる「National Arts & Humanities Youth Program Award」を授与されている。

メンバーは8歳から18歳まで1700名以上の若者が所属しており、YPCの放課後プログラムやニューヨーク市の17の公立学校で行われているYPCのスクール・コーラス・プログラムなどに参加。レパートリーは、クラシックからジャズ、ポップス、民族音楽、ワールド・ミュージックまで多岐にわたる。また、同時代を生きる著名な作曲家への委嘱活動も積極的に行っており、数多くの新曲がYPCによって世界初演されている。海外経験も豊富で、これまでドイツ、フランス、スウェーデン、フィンランド、中国、日本など世界50カ国以上で演奏活動を行っている。

2004年ドイツと2008年オーストリアで開催された「世界合唱大会(旧名称:世界合唱オリンピック)」では合計5つの金メダルを獲得。また2015年「ゴールデンゲート国際合唱コンクール」では金メダルを含む5つのメダルを獲得し、同年ドイツのミュンヘンで開催された「ユーロラジオ合唱コンクール」では「54年の歴史の中で唯一優勝を果たしたアメリカの合唱団」として大きな注目を集めた。2009、2010年に2年連続で民音の招聘で全国ツアーを開催し、好評を博した。2018年、合唱団創立30周年を迎える。



フランシスコ・J・ヌニェス (芸術監督/指揮) Francisco J. Núñez

YPCの創設者、指揮者、芸術監督。近年は指揮者としてだけでなく作曲家、音楽教育者としても活躍し、その非凡な才能を発揮し続けている。

YPCは彼がニューヨーク市の子ども救援団体として組織した合唱団が母体となって発展してきた経緯を持つ。ニューヨークという街で多様なバックグラウンドを持つ若者たちが、国籍・宗教・言語に関係なく音楽を通じて様々な文化を学びながら人間的な成長を遂げるための「場の創造」を目的としてYPCを設立。現在はYPCで培った青少年合唱団のモデルをニューヨーク市以外の都市にも広げようと「ヌニェス・イニシアチブ:合唱芸術を通しての社会変革」を標榜し、そのネットワーク形成に力を注いでいる。2011年、未来への投資として将来性豊かな人物に贈られる「マッカーサー・フェロー」を受賞。